

鷺畑山1号墳発掘報告と 東北日本海側古墳文化を 探るシンポジウム開催

関心高く80人余りが参加

鶴岡市・鶴岡市教委・致道博物館等が後援

「鷺畑山1号墳発掘報告」と「東北日本海側古墳文化を探る」シンポジウムが5日（土）午後、東田川文化記念館明治ホールで開催されました。

しを述べ、このシンポジウムでさらに深めて欲しいと開会挨拶しました。

その後、佐藤禎宏（鷺畑山1号墳発掘調査会副会長・前県考古学研究会会長）の司会で進められました。

小野忍氏（鷺畑山1号墳発掘調査委員長）が「鷺畑山1号墳から探る」、水澤幸一氏（新潟県胎内市教育委員会）が「城の山古墳から探る」、高木秀一郎氏（宮崎遺跡を研究する会）が「秋田県宮崎遺跡の



小野忍氏（鷺畑山1号墳発掘調査委員長）が「鷺畑山1号墳から探る」を報告（5日・東田川文化記念館）

「解明」を報告しました。

北野博司氏（東北芸

軍国教育の話 ②

大沼 浩

でした。

湯田川行のバス停は、養護学校前から新山口、高専前と通過します。新山口の辺りは、井岡との分岐点ですが、東から新山・赤坂道が直角に突き当たり、「字路」になっていきます。東北の角が井岡の農家の畠でした。東南の角に高い山がありました。ここ塔の腰の飴管（あめなめ）地蔵の側に石碑があります。これは小山の頂上に立っていたので、新潟地震で倒れたのが高専からよく見えました。

戦時中は石碑と並んで防空監視哨があり、係員が空を睨んでいました。今は山そのものがあります。さらに南の高専前分譲地の辺りに、射撃練習場があったと思われれます。田

圃を見渡した向こうに金峰山の裾が岬のように出ています。その突端を横に深く掘ったコンクリートの構築があります。塔の腰から撃った銃弾の着弾点であったのでしよう。

鶴中では上級生になると、実弾射撃の訓練をしました。私たちは4年の1学期から学徒勤労働員でしたので、実弾を撃った経験はありません。群馬県太田の工場で戦闘機を作り、B29の上空襲に遭ったりました。

鶴中を卒業し、敗戦となり勤労働員も終わりました。その翌年のこと、私は何の気なしにズボンのポケットに手を突っ込んで立っていました。延味元曹長が近寄ってきて、ポケットをパンパンと叩き、「手を出すんだ」と命じました。鶴中では、ズボンのポケットは、口を縫って閉じることになっていました。軍隊式は彼の服装作法の原点でまた美学でした。私のほほんとした姿は、何とも「めぐさく」見えたことでしょう。私は手を入れたままにして笑いかけてました。彼は無然として立ち去りました。

高専からの帰途、私はまた延味元曹長と会いました。ちょうど長距離競走の立ち番をしていた辺りでした。着物を着て散歩している彼は、クリーニング店の隠居爺さんでした。

「戦争法廃止を求める統一署名」藤島で1263筆（3月8日）
ご協力に心から感謝します。まだの方は4月中旬までお願いします。

前回の「黒崎研堂」(1852(嘉永5)年〜1928(昭和3)年)について、寄り道したい。父は庄内藩家老・酒井了明(さかいのりあき)の3男として生れ、母は藤島の大川渡の成澤家の娘・いつ(私の親類ではない)。

長兄の了恒(のりつね)は戊辰戦争で奥州に攻め来た官軍を迎え撃ち散々苦しめて鬼玄蕃(おにげんば)と称された。

しかし、玄蕃隊長の写真を見る限り、鬼とは無縁の、若い娘達がキヤーと奇声を上げて駆け寄っていくような凄いいケメンだ(写真)。



次兄の酒井調良(ちよ)うりようは、言うまでもなく庄内柿の生みの親だ。

3兄弟は書家としても庄内藩で誰知らぬもののない存在だった。

黒崎研堂の何代目かの子孫に、現在NHKの歴史物で進行役やナレーターをつとめる渡部あゆみ(旧姓黒崎)アナウンサーがいる。

ワッパ一揆は後半、裁判で争う法廷闘争へ移行し、担当判事は小島惟謙(こじまいけん・これかた)だった。

小島惟謙は、1891(明治24)年のロシア皇太子暗殺未遂の大津事件を担当したことで、歴史に名を残し、大審院長として司法権の政治部門からの独立を守り抜き、「護法の神様」などと高く評価された切れ者である。

それと鶴岡大昌寺に設けた仮裁判所で審理を行った沼間守一(ぬまもりかず)も原告の藤右衛門や農民達に同情的な態度で接してくれていた。

幸運の女神にも恵まれていたのではないかと私の感想だ。

全面勝訴とは言えないけれども、裁判によって農民側に6万3652円の金が戻る事になった。

百数十年も昔のこの騒動。色々な面で私・成澤とは奇妙な因縁でからんでいる。(つづく)

『民報藤島』前号の記事の藤島体育館の修繕について、指定管理者の市体育協会によれば、2階トイレの故障は地元業者に見積依頼した結果、10万円程度で可能だが、センサー修理は難しいこと。女関、トアの修理を先に行きたいので、トイレ修繕はその後になること。

屋内体育館の雨漏りやトイレ天上の破損の修理は、市スポーツ課で対応しなければ修繕できないなどの報告がありました。

“反共”という“常識”の「心を整理」し、戦争法廃止と野党結束を訴え続ける小林節名誉教授

—しんぶん赤旗を読んで— 青山崇



野党前会合での報告事項
 野党前会合で、野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する
 野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する
 野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する



野党前会合での報告事項
 野党前会合で、野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する
 野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する
 野党の各派が、野党の統一を目的とする野党の組織決定案を共有する

小林節さんは憲法学者として自民党のブレインであった。しかし、今は国内を駆け回り戦争法廃止を講演している。私も2月11日山形市で拝聴した。

赤旗日曜版2月28日号で「心を整理」を語っている。「共産党と一緒にやりたくない」という声も聞く。私も

普通〴〵の日本人の一人として、反共〴〵という“常識”を共有していた。しかし、戦争法の論戦で自分の心を整理すると何の根拠もないと思うようになった。共産主義の考え方は、弱肉強食の新自由主義に対抗する共生の経済原理として再評価できる。革命政党とレッテル貼りされるが、革命とは「急速な進歩」のこと、進歩して悪いことはない。革命によって既得権益を失う人たちが悪いことだと言っ

ているだけだ。今はそういう偏見を取り払うチャンス。私は野党で「共産党アレルギー」を持つ議員と公開討論したい。そうすればその方も「心を整理」することができるといえる。

党綱領は「その共同が国民の利益にこたえ、現在の反動支配を打破してゆくの役に立つべき、さしあたって一致できる目標の範囲で統一戦線を形成し、統一戦線の政府をつくるために力をつくす」と明記している。



税金学習会

はい、ハガキにある数字を一枚ひらいたここに書いて下さい。これから120万円引いたのが所得額です。で始まったのが老人クラブの税金学習会。65歳を超えている人はこれで所得額が出る。

用紙が違う。所得税が出ていない人は返ってくる税金がないのだが、それでも申告すること、市民税が安く(小さく)なるのです。ここが大事なことです。

▲年金を貰う前に社会保険が引かれて(特別徴収)いますが、普通徴収(本人が納めた)がある人もいます。生命保険を掛けられない年令でも地震保険には入っているだろう。まれに盗まれたとかシロアリの駆除をしたとかがあっても、申告しないと控除にならないのだ。

▲例年開いてきたが、やっと税務署が言うところの、収入が400万円以下の人は申告しなくてもいいとは、申告しないといけないのだというところが判ってくれた今日の集まりだ。これの5%を超えた額が医療費控除になります。

▲すでに案内で、家族全員のもの人毎医者毎に集計してくることにしてある。これを袋にそれぞれ転記し、そこにある欄で5%を差し引けば出るのだからむずかしくはない。

▲ここで所得税が出た人と無い人で申告

▲健康で医療費が5%に満たなくても、それらの保険で還付を受けられる人がいたし、所得税が出ていない人も来てくれて、市民税の申告書に書いている。

みんなワイワイやれば楽しくできるんだ。

▲終わればそこは老人クラブ。婦人役員が油を流してくれた暖かい油揚げで一杯だぜ。(石川)



しんぶん赤旗日曜版2月28日付